

上田市中学校部活動の地域展開について

1 上田市の現状

(1) 少子化の進行

生徒数が減少
8年前に比べ13.3%減

(2) 部活動加入率

運動系加入率減少
8年前に比べ8.1%減

(3) 合同チームの状況

令和6年度 夏季大会 4競技 8チーム
新人大会 4競技 8チーム

(4) 教職員の長時間勤務

令和4年9月調査 小学校と中学校比較
1か月当たり3時間30分長い

(5) アンケート調査から（令和5月12月実施）

■児童生徒（小5～中2：回答率69.4%）

- 学校部活動に対して、成績上位・トップアスリートを目指すことよりも楽しむことを求めている。また、休日の活動の需要は小さい。
- 学校部活動を地域の活動へ展開するに当たっては、現在の活動をそのまま展開することが望まれているわけではない。

■保護者（上記、児童生徒の保護者 回答総数 3,118/5,118人 回答率60.9%）

- 地域クラブ活動においては、参加するかどうかを選択できることや、個のレベルに合った活動、また、現在の部活動にない活動への期待が高く、現在の活動をそのまま展開することが望まれているわけではない。
- 費用負担や展開に関する不安が多く、支援について検討の必要がある。

■中学校教員（回答総数 154/269人 回答率57.2%）

- ・休日の指導を希望する教員は少ない。

- 現在、休日において多くの教員が部活動指導にあたっている働き方には問題がある。
- 働き方改革の観点からも、休日は心身を休めていただき、教員の健康を守っていくことが必要

2 上田市の展開計画

(1) 目指す方向

中学生の『やってみたい』を地域で紡ぐ

部活動

学校教育として
教員が指導者となり
当該校の生徒だけが対象

展開

地域クラブ活動

生涯学習・社会体育として
多様な指導者により
対象は地域の中学生も含む

